

令和6年度使用 小学校教科用図書調査研究結果

生 活

令和5年8月23日（水）

伊予市教科用図書調査委員会

【調査・研究資料】教科名（生活） No. 1

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
2 東京書籍	あたらしいせいにかつ 上どきどきわくわく 下あしたへジャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 製本サイズは、A4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の流れを軸に時系列で単元が配列・構成されているため、年間を通しての活動の流れが分かりやすい。 ○ 単元の導入等の写真がダイナミックで、子どもの表情がとともよい。 ○ 誌面が落ち着いた淡い色調で、吹き出しの文字が、文節で分かち書きされていて読みやすい。 ○ 上巻冒頭で、児童が学校生活になじめるよう配慮したスタートカリキュラムに対応したページがある。 ○ QRコードを読み取ることにより、端末機器等で活動に関わる動画や資料を見ることができる。691点の豊富なコンテンツがあるが、授業で効果的に利用するためには精選が必要である。 △ 植物の栽培では、種まき後から花が咲くまでの途中経過の記述や写真はあまりない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やくそく」のコーナーや巻末の「かつどうべんりてちょう」のページに学習活動に沿ったヒントや資料を示しているので、児童が自分で活動するための指標となる。 ○ 巻末の図鑑は実物大のイラストが掲載されており、分かりやすい。 ○ 小単元で、育成を目指す資質・能力を本文とマークで明示している。 ○ 学習のまとめ方として、新聞やマップ、絵本、巻物、端末機器等での発表などの多様な活動が紹介されており、分かりやすく、児童の学習の手立てになる。 △ ページによってはイラストが小さく細かいところがある。情報量も多く、配慮の必要な児童には伝わりにくいページもある。 	<p>内容は、学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。</p> <p>児童が主体的に学習を進められるように、多様な学習のまとめ方や活動のヒントが掲載されている。</p> <p>淡い色調のイラストと対照的に人物や植物、生き物などの写真はインパクトのあるはっきりした写真が使われており、児童の関心を引きつけやすく工夫されている。また、これまでの経験を想起させる小写真、クイズがあり、子どもが学習に興味を持ちやすくなっている。</p> <p>しかし、ページによってはイラストの小ささや、情報量の多さから、低学年児童には伝わりにくい部分がある。また、691点のQRコードによるコンテンツも、豊富な反面、数が多すぎて、授業で利用するための視聴や精選に時間を要し、十分に活用することは難しいと考える。</p>

【調査・研究資料】教科名（生活） No. 2

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
4 大 日 本 図 書	た の し い せ い か つ 上 だ い す き 下 ひ ろ が れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 製本サイズは、A4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の時系列によって、ページを構成している。例えば朝顔の栽培のページの間、「通学路でみつけたよ」のページがある。学習の流れが、無理なくスムーズであり、児童の意識に沿って、単元構成を組み立てることが可能である。 ○ QRコードを読み取ることで、端末機器等で活動に関わる動画や資料を見ることができる。自然の少ない地域では、植物や生き物のイラストや写真が参考になる。 ○ 活動したことを家族とともに振り返ったり、過去の自分と比較して成長に気付いたりする場面を取り上げており、構成が工夫されている。 △ イラストの色調が暗い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動に応じて、必要な習慣や技能を随所に示すとともに、巻末に「がくしゅうどうぐばこ」を設けているため、約束事などが指導しやすい。 ○ 学習活動の中で活用できる「せいかつことば」や「きらきらことば」のコーナーを設け、言語環境も整っている。 ○ 「きもちマーク」で、自己評価をイラストで書き込める工夫がある。 ○ (下) おもちゃの作り方が動画で分かりやすい。 △ (上) 秋のおもちゃ作りについては、おもちゃの写真が小さく、作り方の説明がない。 	<p>内容は、学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。活動したことを家族とともに振り返るようなページがあり、学校と家庭がつながるきっかけになる。</p> <p>児童が身に付けるべき、習慣や技能を示すことで、学習すべきことが分かりやすくなっている。</p> <p>しかし、活動内容ごとの単元構成でなく、時系列で構成されている（朝顔の種を植えて芽が出るのを待っている間に通学路について学習するなど）ので、よさもあるが使いにくさや融通の利きにくさがある。</p> <p>見出しや文字が小さく文字数も多いため、読みにくい。また、写真や絵が小さく、うす暗いため、全体的に少し古い印象である。</p> <p>QRコードの写真や動画も、身近に自然がある地域にとっては物足りず活用しにくい。おもちゃ作りの動画は、分かりやすい反面、児童が試行錯誤したり工夫したりする活動が少ない。</p>

【調査・研究資料】教科名（生活） No. 3

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
11 学校図書	みんなとまなぶしょうがつこうせいかつ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 製本サイズは、A4変型判（少し縦が短い）である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊びや栽培などの活動ごとに大単元を構成しており、分かりやすい。目次が月ごとに分かりやすく示されており、教師も年間の計画を立てやすい。 ○ QRコードを読み取ることで、端末機器等で活動に関わる動画や資料を見ることができる。 ○ 写真が鮮明。動植物は細部がクローズアップされた写真があり、児童の興味を惹く。 ○ ページの見出しに「〇〇にいこう」「〇〇をつたえよう」「そだてよう」「ふりかえろう」等と書かれており、学習することが分かりやすい。 △ 写真の数は多いが、小さいため低学年には内容が読み取りにくい。 △ 大単元はまとめて掲載されているので分かりやすいが、季節探しをするページがまとめて掲載されているので、教科書をページに沿って進めるには、工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の随所に「ものしりのうと」「もっと〇〇したいな」「ものしりずかん」ページがあり、知識を広げたり、学習活動を発展させたりすることができるよう工夫されている。 ○ 単元内の随所に「やくそく」や「ちゅうい」、巻末に「まなびかたずかん」を設けている。児童が観察したり、表現したり、考えたりする際のヒントになる。 ○ イラストに文字が少なく、イラストを見て、児童自身が考えることができるように配慮されている。 ○ 記録カードの右肩に顔の表情マークでの自己評価欄を設けている。入学してすぐは簡単で分かりやすいが、1年生の2学期以降に使い続けるのは、自己評価としては物足りなさもある。 ○ 各単元の終わりには、振り返る活動を取り上げており、児童が成長を実感できるようになっている。 △ 秋のもので作ったおもちゃで遊ぶ学習では、遊んでいるクラス全体のイラストがなく、学びを深めたり生かしたりする機会の全体像が分かりにくい。 	<p>内容は、学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。</p> <p>記録カードに顔のマークで気持ちを表すのは、自己評価への抵抗感は軽減されるが、具体的な観点や視点が分かりにくく自己を振り返ったり見つめたりする材料としてはやや弱い。また、悲しい気持ちを表情で表現する児童もおり、掲示する際に配慮を要する。</p> <p>動植物のよい写真もあるが、1ページに掲載されている写真は、数は多いが比較的小さいものが多く、インパクトはあまりない。</p> <p>QRコードで読み取れる内容が、自然の多い地域では当たり前に見られる写真や動画も多く、この地域（伊予地区）ではあまり活用できにくい。</p>

【調査・研究資料】教科名（生活） No. 4

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
17 教育出版	せい いか つ み ん な な か よ し	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 製本サイズは、A4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童にとって馴染みのあるキャラクター「いぐら」と一緒に単元を貫く「はっけんろうど」をたどることで、児童が楽しく学習を進めることができる。 ○ 上巻冒頭で、児童が学校生活になじめるよう配慮したスタートカリキュラム」に対応したページがある。 ○ 下巻には、発展として「理科へのまど」が掲載されており、3年生での理科学習につながるように工夫されている。 ○ 上下巻で同じ児童の写真を掲載するなど、上下巻につながりを持たせている。写真の児童と一緒に進級した気持ちが持てるように工夫されている。 ○ QRコードを読み取ることで、端末機器等で活動に関わる動画や資料を見ることができる。 ○ 児童の意識の流れに沿った具体的な場面の写真を多く掲載している。写真の大きさ、文字とのバランス、配置にも工夫が見られ、読みやすい。写真の子どもたちの表情もよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入で、「わくわくスイッチ」の質問に答えていくことで、児童は学習の動機付けができる。ただし、その分文字数が多くなっている。 ○ 単元内に「ひんと」「やくそく」、巻末に「学びのポケット」を設けており、指導する際に使いやすい。 ○ 単元の最後、「なにをかんだかな」のページには、自己評価のための記述欄や「ぐんぐんはしご」のコーナーを設けている。また、児童の気付きの質が高まるように、多様な言語活動を取り上げている。 ○ 試して工夫するなど困ったことに試行錯誤しながら、解決していけるような見出しや、ページが掲載されている。 ○ 巻末の「まなびのポケット」には、コンピュータの有効な使い方やSDGs、ごみの捨て方などについて掲載するなど、新しく記載がなされている。 	<p>内容は、学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択され、児童の意識の流れに沿った具体的な場面の写真が多く用いられており、活動の流れが分かりやすい。</p> <p>導入や振り返りのページを設定し、主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。</p> <p>生活科の目標を「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」などと6つのキーワードに分類し、小單元ごとにサイコロで表示して、常に活動のねらいを意識させるつくりになっている。</p> <p>単元のはじめには、「わくわくスイッチ」が掲載されており、児童の意識が自然に単元に向かうように工夫されている。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに、最も適している教科書であると考え</u>る。</p>

【調査・研究資料】教科名（生活） No. 5

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
38 光村図書出版	<p>上 わ く わ く せ い か つ</p> <p>下 い き い き せ い か つ</p>	<p>○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。</p> <p>○ 児童の発達の段階に適切している。</p> <p>○ 製本サイズは、A4判である。</p>	<p>○ ヨシタケシンスケさんの優しいタッチの絵と言葉が子どもの興味を惹く。</p> <p>○ 単元において、導入・展開・振り返りで構成されており、体験活動や表現活動が具体的に示されている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインの観点から、誰もが明確に識別できる配色が採用されている。</p> <p>○ 小単元は活動が一覧できる見開き2ページで完結する構成になっている。学習の進め方が一目で分かりやすい。</p> <p>○ QRコードを読み取ることで、端末機器等で安全に関することや道具の使い方を動画で見ることができる。</p> <p>△ 写真やイラストが豊富であるが、その分写真が小さいところがある。</p> <p>○ 「保護者の皆様へ」というコーナーを設け、単元のねらいが保護者に分かるように工夫している。</p>	<p>○ 子どもたちが選んだ学習材や知りたい内容に応じて活用する資料が別冊にまとめられている。</p> <p>○ 巻末には、上「生き物図鑑」、下「広がる生活辞典」がついている。切り離しができて扱いやすい上、写真や紙の質がとてもよい。児童が必要に応じて、持ち歩いたり、自発的に確認したりすることができるようになっている。</p> <p>○ 小単元ごとに「ふりかえろう」という振り返りが設定されている。学習指導要領に沿った観点が示されており、児童自身が振り返る際の視点や、教師の見取りや評価、子ども理解に役立つ。</p> <p>○ 植物の生長についての記録カード例が、前と比べて変化したところを中心に書いてあるものを例示しており、書き方を児童に指導する際の参考にしやすい。</p> <p>△ 秋のもので作ったおもちゃで遊ぶ学習では、遊んでいるクラス全体のイラストがなく、学びを深めたり生かしたりする機会の全体像がわかりにくい。</p>	<p>内容は、学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。</p> <p>ヨシタケシンスケさんの絵と言葉が目を惹き、次のページをめくりたいわくわく感がある。また、児童にとって気付きを促したり、活動を広げたりする手立てにもなっている。</p> <p>学習過程が写真や吹き出しによって分かりやすく、「学び方のヒント」で学びの深め方が分かる。</p> <p>別冊や巻末の図鑑の質がよく、色も鮮やかで目を惹く。</p> <p>振り返りのコーナーが、学習指導要領に沿っているため、分かりやすい。14の視点で振り返ることができ、児童の学びの深まりを見取りやすくなっている。</p> <p>しかし、少し情報量が多くなりすぎたり、写真やイラストが小さく見にくくなったりしているページもある。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに、適している教科書であると考える。</u></p>

【調査・研究資料】教科名（生活） No. 6

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
63 啓林館	<p>上 わ く わ く せ い か つ</p> <p>下 い き い き せ い か つ</p>	<p>○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。</p> <p>○ 児童の発達段階に適切している。</p> <p>○ 製本サイズは、AB判である。</p>	<p>○ 学習の流れを「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で示していて、学びのプロセスが分かりやすい。また、どの段階なのかをページの端にカラーで示していて、視覚的にも分かりやすい。</p> <p>○ 上巻冒頭で幼児教育との連携を図ったスタートカリキュラムのページが多くある。</p> <p>△ イラストが小さく色合いも単調で、児童の興味を惹きにくいので工夫を要する。</p> <p>△ 文字が小さく、読みにくいため、配慮の必要な児童の使いにくさが予想される。</p>	<p>○ 単元の随所に「こんなときどうしよう」のコーナーを設けて児童に考えさせる場面を設定している。</p> <p>○ 学研の図鑑とコラボした「びっくりずかん」、調べ方や記録の仕方を示した「がくしゅうずかん」、QRコードを読み取って生き物などを閲覧できる「デジタルたんけんブック」の3つの図鑑があり、学習に生かすことができる。</p> <p>○ 各単元の最後に「できるかなできたかな」のコーナーや、学習内容を生活に生かす「ひろがるきもち」のコーナーがある。学習の振り返りの仕方や生活に生かすヒントになって、活動を広げたり学びを深めたりする手助けになる。</p>	<p>内容は、学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択され、単元の最後には振り返りを促すコーナーもある。</p> <p>教師の声掛けや立ち居振る舞いの例や板書の写真、イラストが豊富で、生活科に慣れていない教師にとっても指導の参考になる部分がある。</p> <p>3段階の学習プロセスにしたがって学習を進めやすい構成になっているが、児童の活動意欲を喚起するような資料が少ない。</p> <p>サイズが小さいため比較的軽く、持ち運びはしやすいが、その分、写真やイラストが単調で小さくなりがちで、インパクトや多様性を感じにくい。</p>